

平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 高槻 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
本市	16.67	20.32	33.09	40.91	52.67	9.38	152.51	24.17	54.37

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72
本市	16.47	19.16	37.19	39.55	42.13	9.62	145.98	14.41	55.96

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

体を動かすことが好きで、学校に来ると朝から運動場でボール遊びなどを楽しんでいる。運動は大切だと考えている児童が多く、土・日も体を動かしている児童の割合が高い。健康のために運動をすること、食事をしっかり摂ること、十分な睡眠をとることは大切だと考え、実践できている。失敗を恐れず挑戦する気持ちの高さが、自らの運動能力の自信へとつながっているようである。今後も目標をもって運動を続けていくことで、さらなる体力の向上が期待できる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

全学年共通の課題である立ち幅跳びの記録向上を目指す。体育授業パワーアッププログラム(跳の運動)を活用し、ポイントを押さえた授業を行っていく。また、準備運動編に示されたジャンプアップ運動(バラエティダッシュ、ジャンケン立ち幅跳び、10mスプリント&ストップ、ペアラン等)を積極的に行う。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

月に一度、縦割リグループで長縄を行い、1月末のグループ対抗長縄大会へとつなげていく。2学期は、児童集会として、企画運営委員会の計画した縦割リグループ対抗のスポーツ集会を行う。3学期は、中休みを使って、マラソン運動(5分間走)を行う。また、1年生を迎える会、運動会、スポーツ集会、6年生を送る会などの行事にキッズダンスを組み入れる。